

# 目標達成のための基本方針について

## 1 環境行動

望ましい環境像	市民一人ひとりの心と行動が将来へ良好な環境を引き継ぐまち
環境目標	市民一人ひとりがエコスタッフ
SDGs への貢献	   

### 基本方針

<b>環境情報の共有</b>	環境の現状について正しく理解したうえで行動するため、市民・事業者・行政がそれぞれ正確な情報発信に取り組むとともに、それぞれが環境情報に対する感度を高め積極的な情報の収集と理解に努めている状況を目指します。
<b>環境学習と人材育成</b>	環境活動に取り組む人材や自然をはじめとする地域資源を活用しながら、子どもから大人まであらゆる世代が環境について考え・学び続ける様々な機会を設けるとともに、これらも活用しながら、具体的な環境行動を自ら考え、実践できる人材として皆が育ち・育てることを目指します。
<b>環境に配慮した行動の実践</b>	それぞれの生活スタイル・事業活動が、自らが住まい・働く地域だけでなく、日本全体、世界各地、地球規模での環境に影響を及ぼしていることを認識し、環境負荷の低減や高質な環境の創造の実現に向けて、それぞれの役割に応じて環境に配慮した行動に取り組むことを目指します。
<b>連携・協働による環境活動の深化</b>	市民・事業者・行政が取り組んでいる様々な活動等について、様々な場面をきっかけとして相互に連携・協働がすすみ、相乗的な効果が発揮され、いっそう環境活動が市域全体に普及・定着することを目指します。

## 2 生活環境

望ましい環境像	誰もが心地よく、憩いとやすらぎのある生活を営めるまち
環境目標	健やかに暮らせる良好な生活環境の保全
SDGs への貢献	   

基本方針	
<b>良好な大気・水・土壌環境の確保</b>	<p>事業者の高い環境保全意識と行政による定期的な立入検査により、事業に伴う排水・排気等は環境基準を満たした上でさらに低い水準に維持されている状況、また事業活動に伴う新たな土壌汚染が生じていない状況を目指します。さらに、環境モニタリングとして定期的に大気・公共用水域・地下水等の環境実態が把握されるとともに情報公開され、良好な水準であることが幅広く知られていることを目指します。</p>
<b>事業活動と快適な生活環境の両立</b>	<p>事業活動に伴う騒音・振動・臭気等は、事業者の高い環境保全意識と周辺居住者への配慮により、良好な水準に維持されている状況を目指します。また、目指すべき姿にふさわしい住商工としての土地利用とその誘導や、周辺居住者の事業活動に係る理解が得られている状況を目指します。</p>

### 3 自然環境

望ましい環境像	河川を軸に人と自然をつなぐみどり豊かなまち
環境目標	人と自然の共生
SDGs への貢献	   

基本方針	
<b>良好に営まれている 森林・農地の保 全と創出</b>	北部森林の台風被害からの再生、既存の森林や農地の適正な維持管理と利活用、市内産の農作物・林産品の積極的な消費に、農林業従事者・市民・事業者をはじめとする関係者が取り組み、森林や農地の有する多面的な機能が十二分に発揮されている状況を目指します。
<b>市民生活を豊かにす る水辺環境の充 実</b>	芥川（含む摂津峡）や淀川を中心に、豊かな生態系の確立、水辺や生き物との触れ合いの場、憩いと潤いの空間の形成、各種関係団体の活動と連携により、日常生活や様々なイベントで市民が水辺に親しんでいる状況を目指します。
<b>生物多様性の保全</b>	貴重な野生動植物の保護や特定外来生物の防除をはじめ、緑と水のネットワークづくりや様々な生物が生息できる空間・拠点の保全と創出などを通じて、生態系サービスを支える多様な生物が地域に生息している状況を目指します。
<b>自然とふれあう機会 の充実</b>	公園や民間敷地の緑化等による市街地における緑空間の整備、歴史文化等の地域資源と一体となったみどりのネットワーク化、これらを活かした憩いと学びの場の提供などを通じて、市民が暮らしの中で様々な機会にみどりとふれあう状況を目指します。

## 4 都市環境

望ましい環境像	ゆったりとした時間が流れるおだやかで風格のあるまち
環境目標	ゆとりある都市環境の創造
SDGs への貢献	  

基本方針	
<b>持続可能な都市構造に向けたまちづくり</b>	都市の拠点とその周辺においては、地域特性に応じた都市機能の集積・高度化や一定の密度を維持した居住空間を志向するとともに、これらを連携する市営バスを中心とした誰もが円滑・快適に利用できる交通ネットワークも活用するなど、コンパクトシティ・プラス・ネットワークを念頭に、長期的な人口減少社会においても環境負荷の少ない都市構造を目指します。
<b>みどりと憩いの空間の充実</b>	市街地における貴重なオープンスペースである公園や、様々な主体による街なかの緑の保全と創出を通じて、これらの有する多様な機能を活かしつつ暮らしに憩いと潤いを与える空間を形成します。
<b>地域特性を活かしたまちなみの保全と創</b>	長い歴史と風土の中ではぐまれてきた歴史資産や伝統的なまちなみ、自然と調和した風景等を継承するとともに、これらの地域特性を活かした新たなまちなみと魅力が形成された都市環境を目指します。

## 5 循環型社会

望ましい環境像	限りある資源を活かして、ごみゼロをめざすまち
環境目標	持続可能な循環型社会の形成
SDGs への貢献	   

基本方針	
<b>3Rを実践する生活スタイル・事業活動</b>	ごみの減量（リデュース）、再利用（リユース）、リサイクルからなる3Rに、市民・事業者が日々の生活や事業活動の中で様々な内容・方法により取り組むことで、廃棄物の処分による環境負荷の軽減を目指します。
<b>資源循環と廃棄物の適正処理</b>	限りある資源に係る循環の輪を形成していくため、市民・事業者と回収・再生事業者との相互理解や連携強化、再利用品・リサイクル品の積極的利用を目指します。また、民間の廃棄物処理施設や市の一般廃棄物処理施設においては、法令を遵守したうえで安定的でより環境負荷の低い廃棄物処理と、エネルギーとしての回収を含めた資源の循環にいっそう取り組むことを目指します。
<b>まちの美化に向けた協働</b>	市民・事業者の高いまちの美化意識により、不法投棄や吸い殻等のポイ捨て等が未然防止されているとともに、日常的な公共空間・公益的空間における美化活動が行われていることにより、清潔で快適に暮らせるまちの実現をめざします。

## 6 地球環境

望ましい環境像	地球規模で考え、身近なことから行動するまち
環境目標	地域からの環境負荷低減の取組
SDGs への貢献	    

基本方針	
温室効果ガスの排出が少ない快適な建物と自動車に変えていこう	建物や設備・機器を省エネルギー性能の高いものへと転換していくことや、建物を活用した再生可能エネルギーの創出を図ることで、低炭素で快適な住環境及び事業環境の実現を目指します。
日々の暮らしや仕事の中で省 CO <sub>2</sub> となる選択を習慣づけよう	エネルギーの見える化や省エネルギーをサポートする機器やサービスを日常に組み込み、さらには、こうした取組が普及・定着し、環境に配慮した選択が社会の価値観として共有される社会を目指します。
気候変動のリスクを知り、暮らしや事業活動への影響が小さくなるように備えよう	気象災害や健康影響など温暖化に伴うリスクについて正確な情報や危機感を共有し、甚大な自然災害の経験を教訓に、一人ひとりが気候変動の影響から暮らしや事業活動を守ることができるまちを目指します。

※本項の基本方針は、「第2期たかつき地球温暖化対策アクションプラン」に基づく